

教えて!医療情報との付き合い方

ドクターズコンテンツシリーズ #45

はじめに

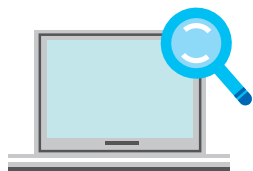
今やインターネットにつながれば誰でもかんたんに医療情報を入手できる時代。体調や健康に不安を感じたとき、病気の情報を得る人も多いのではないのでしょうか。しかし、インターネット上には根拠のない情報も多く、混乱や不安を招く要因にもなっています。自分自身や家族の健康を守るためにも、医療情報との正しい付き合い方を見つけましょう。



インターネットの医療情報は信頼できる?

検索結果で上位に出てくる情報は正しい?

検索の上位にあると、なんとなく安心な気がしますね。しかし、一部には、広告収入を増やすことを目当てに、拡散されやすい都市伝説や怪しい情報を意図的に公開しているサイトもあります。より信頼できる情報を得るなら、医療機関、公的研究機関、医師会等のサイトを利用すると安心です。



実際に嘘の情報を信じてしまう人も

「ステロイド薬を塗ると皮膚が黒くなるというのは本当ですか?」という質問をされ、驚くことがあります。これは根拠のない都市伝説ですが、何らかのきっかけでこの情報に触れ、「ステロイドは危ない薬なんだ」と信じてしまう人がいるようです。

もちろん、信頼できるサイトもありますが、すべてを鵜呑みにするのは危険です。不安な情報を見かけたら医師に直接確認し、正しい情報を得るようにしましょう。

! 「副作用」や「リスク」に不安を感じたら

医療は基本的に安全性が確認されている行為です。しかし、薬の効き方に個人差があるのと同じように、すべての人に万能ではありません。それでも医師が処置や薬の服用を薦めるのは、治療を受けない場合と受けた場合のリスクを天秤にかけて、治療を受けるメリットの方が大きいと考えるためです。

もちろん、医師は患者に安全に治療を進めてもらうためには、良いことだけでなくデメリットもしっかり伝えなくてはならないので、リスクや副作用の説明もします。リスクと言うとネガティブな印象を与えますが、治療を理解することで不安が解消されることもあります。

治療に不安を感じたら、医師に治療を受けない場合のリスクも確認してみてください。きっと中立的な視点で治療の選択ができるはずです。

治療のこと・薬のことを聞きたい!



インターネットに載っていた治療法と違うけど?

インターネットで紹介されているのは、あくまで一つの治療法であり「あなたへの治療」にはあてはまるとは限りません。病気の診断や治療法は、医師による視診や触診、問診、検査をしてはじめて決められます。そして、同じ病気に対しても、その人の状態に適した治療・検査を行います。



基本的には医師の指示通りの治療を進めて問題ありませんが、治療法に疑問がある場合は医師に治療方針の説明を求めるとして、不安を解消してから治療を受けましょう。

処方箋に納得できない!意見は言える?

一部ですが、医師の診断に納得がいかず「自分はこの病気ではないから、この薬はいらない」、「この薬は副作用があるとインターネットに書いてあったから飲みたくない」と、処方箋を拒む人がいます。また、「この薬じゃなくて〇〇薬に変えて欲しい」と処方内容を指定する人もいます。



薬の処方箋は専門的な知識と診断に基づき行っているため、薬の処方箋をやめたり異なる薬を処方したりするのは適切な医療行為とは言えません。むしろ病気の進行や悪化を進め、最終的には体に悪い影響を与えています。

! 保険診療には制限があります

健康保険証を使って受診できる治療を「保険診療」と言い、医療保険により金額を一部補われることで患者は少ない負担で医療が受けられるようになっています。ただし、検査や治療法、薬が完全に決められており、医療行為に制限があります。

現在、保険診療と自由診療の混合は法律で禁止されていて、治療のひとつだけでも自由診療が入っていると全部が自由診療となり、保険診療は認められなくなってしまいます。

治療の要望によっては保険診療の範囲を超えてしまうことがあるので覚えておきましょう。

この他にも...

ドクターからの健康アドバイス「ドクターズコンテンツ」
サイトでは様々な症例をご紹介します。

- インターネットに載っていた治療法と違うけど?
- 処方箋に納得できない!意見は言える?
- しっかり診てもらうための準備をしようなど掲載中!

アイチケット広場



<http://park.paa.jp/>